

## 令和2年度 第1回知立市図書館協議会 議事録

### 1. 日時・場所

令和2年7月31日（金） 午後1時30分～2時13分

知立市図書館2階 視聴覚室

### 2. 出席者

委員：犬塚多江、野村智之、杉浦智子、橘玲子、近藤博子、松尾恵子、杉浦卓次、  
中野美千恵（欠席：辻和見）

事務局：宇野教育長、加塚教育部長、中野文化課長、矢田係長、近藤担当係長、佐々木主事

### 3. 協議事項

- (1) 令和元年度事業実績報告について
- (2) 令和2年度事業計画について
- (3) 第3次知立市子ども読書活動推進計画について
- (4) その他

### 4. 概要及び経過

（午後1時30分開会）

進行：中野文化課長

- (1) 教育長あいさつ
- (2) 自己紹介
- (3) 会長・副会長の選任  
松尾委員より推薦  
会長：近藤委員 副会長：杉浦卓次委員
- (4) 会長・副会長あいさつ

協議事項の概要は次のとおり

#### 協議事項（1）平成元年度事業実績報告について

近藤会長 協議事項（1）について、事務局より説明をお願いします。

事務局 令和元年度事業実績報告について、資料に沿って説明。

近藤会長 令和元年度事業実績報告について、ご意見・ご質問はありますか。ないようですので、ご承認いただける方は拍手をお願いします。

(全員承認)

近藤会長 協議事項(1)についてご承認いただきました。ありがとうございます。

#### 協議事項(2) 令和2年度事業計画について

近藤会長 協議事項(2)について、事務局より説明をお願いします。

事務局 令和2年度事業計画について、資料に沿って説明。

近藤会長 令和2年度事業計画について、ご意見・ご質問はありますか。

野村委員 本のリサイクル市とは、市民の皆様から集めたものを無償配布しているのか。

事務局 市民の皆様から寄贈頂いたものもありますが、大多数は図書館の除籍本。感染症の関係で例年通りの開催は難しいので、別の方法で開催する予定。

野村委員 本の募集は大々的にしているか。

事務局 例年広報で募集しているが、今年は見合わせた。

松尾委員 寄贈本は随時受け付けていると思うが。

事務局 随時受け付けているが、リサイクル市に向けて広報に載せる時期がある。

近藤会長 ほかに質問はありますか。ないようですので、協議事項(2)の報告については以上とします。

#### 協議事項(3) 第3次知立市子ども読書活動推進計画について

近藤会長 協議事項(3)について、事務局より説明をお願いします。

事務局 第3次知立市子ども読書活動推進計画について資料に沿って説明。

近藤会長 第3次知立市子ども読書活動推進計画について、ご意見・ご質問はありますか。ないようですので、協議事項(3)については以上とします。

#### 協議事項(4) その他

近藤会長 その他について、発言がありましたらお願いします。

杉浦卓委員 第2次知立市子ども読書活動推進計画の36ページだが、現状と32年度の目標を比べると学校や園が協力していない印象を受ける。学校は忙しいと思うが、そのあたりは図書館としてはどうか。

事務局 団体貸出については、受付時間を延長し借りやすくなっているが、学校は忙しいと伺っている。

杉浦卓委員 読書活動や朝の読書の時間も減っている。働き方改革で強制力がなくなっているか。以前ほどシビアにやっていないか。

中野委員 学校で朝の読書活動をやりにくい状況になった。新指導要領になり小学三年生以上の生徒の授業時間が週に1時間ずつ増えた関係で、学校によってはモジュールといって朝の15分間の時間を3回取り、45分として1時間にカウントしている。学習の内容がとても多くなっている。土曜日登校もなくなった。学習の内容だけゆとり教育以前に戻り、授業の時間数の確保が難しい。朝の読書の15分間というのは子ども達にとって有効だった。落ち着いて学習に取り組むきっかけにもなり良かったが、やりにくくなった。本当はやりた

いと考えている教員はいると思うが、それがかなわないのが残念。杉浦卓委員の働き方改革とはどういうことか。国語の授業で読書を絡めることは多くある。以前までは読み物の単元が多かったが、今はどちらかというと『話す』『聞く』『プレゼン』『スピーチ』をするという方に偏ってきている。読書をすれば、その読み物の同じ作者を紹介し深めていけると思うが。

- 杉浦卓委員 働き方改革というよりは、読書より教科の時間を優先する考え方の変わり方という意味。
- 松尾委員 ストーリーテリングを行うボランティアグループのホットケーキの会で小学校へ行くが、以前はたくさんの小学校に行っていたが、今は八ツ田小学校と知立小学校に行っている。八ツ田小学校は各学年すべて行っている。知立小学校は読書週間に年に2回、偶数学年と奇数学年に分けて行っている。知立東小学校はだいぶ前からなくなっている。子ども達は一生懸命聞いてくれて私たちも嬉しく思うが、依頼がなくなると、学校は忙しいのだと感じる。
- 中野委員 本当に残念。子ども達は読み聞かせがとても好きで5分、10分の時間をとって授業の最後に読む際は一生懸命読んでいる。大きい子でも絵本が大好き。参考年齢が自分よりだいぶ低い本でも大きい学年の子たちは喜んで聴くので、時間がとれたらいいが、実際には教科書の内容や指導要領の内容をこなすのに精いっぱい。今年は感染症の関係で2か月休校になり、挽回しようとしている。ますます本を読みましようという機会をとるのが難しい。学校の図書室も開館はしたが、中での閲覧は密になるためほとんど出来ていない。貸出返却をしても、図書推進委員や先生が本の消毒をしなければいけない。なかなか難しい。家に帰るとゲームやパソコン等いろいろあるが、自分はコロナ禍の中で家にいる時間が長くなり、本に親しむ時間が取れた。その本の紹介ができれば子ども達も読んでみよう、読み慣れている子は思ってくれるかもしれない。
- 近藤会長 第2次知立市子ども読書活動推進計画の36ページの成果指標で、一つの目標にするのに27年から4年間たった今年ということで、この5年間の取り組みが、例えば『小学校に入る前に家で本を読んでもらった経験のある子の割合』を67.7%から85%にするという数値目標ですが、園に協力を呼びかけるだとか、目標はやはり成果を上げるため、コロナ禍だとは言え、図書館だよりや広報ちりゅうなど、読む機会が増える人が活字に触れれば協力が得られると思う。杉浦卓委員が意図するところは、保育園や幼稚園、小学校に協力を求めることが必要だということ。また家庭教育を中心にやっていただければと思う。学校だけに任せるのではなく、社会教育。子どもたちには知立市を背負っていってもらう必要がある、やれることはやっていきたい。
- 杉浦智委員 保育園に務めているので、子ども達の本との関わりを間近で見ることが出来る。1歳の子でも2歳の子でも本が大好き。保育園児なので字は読めないが、読み聞かせや、ふれあいをとても喜ぶ。同じ本を何回でも読む。感染症の関係で今は出来ていないが、週に一回絵本を貸出していて、家の人に読んでもらおうねと言っている。好きな本がその子にあり、またこの本を借りてきたのと親に言われている。小さい子でも本は大好きだと感じている。せっかく本が好きな子ども達がいるのに読まなくなってしまうのは残念だと常々思う。親の意識を少しずつ変えていかないといけないが、親も忙しい。子どもに読ませたいがどんな本がいい

か迷う場合や身近に本がない場合がある。そういった情報を知らせるような手立てがあるとよいと思う。例えば、広報や図書館だよりにおすすめの本を1冊でもいいので掲載し、こういう話なのだとは具体的に分かったら良い。配布資料を見たが、図書館が行っていることがこんなにもあるのだと知った。もう一步踏み込んだ、去年の様子分かる具体的なものも知らせてもらえるといい。

松尾委員 それに関連して、アンケート（イベントすべて）の集計を拝見して、こういう風だったら行きたかったのにとすることがある。図書館だより等に去年の様子を載せて頂けると行こうと思うようになると思う。

事務局 去年のアンケート結果を見ると、開催してほしいイベントの項目に既に開催しているイベントの記入がある。そのため、東玄関に去年一年間の児童のイベントの様子を掲示して周知している。図書館だよりには先月のイベントの様子を掲載している。

杉浦智委員 それは図書館に来なければ見られないか。

事務局 図書館だよりは各方面に回覧をしている。

野村委員 読書の推進というところで、自分の子どもが図書館へ行くとシールをもらって帰ってくる。それを小さい子は喜ぶ。小学校では年間に何冊借りた、ということで賞状がもらえる。それで親がこんなに読んでいたんだと気付く事ができ、褒めてあげられる。どんな本を読んだかもわかるよう、図書館で読んだ本を記録する読破リストがあるとよい。それが子どものご朱印帳のような、一生ためていけるものになる。

事務局 春の子ども読書週間と秋の読書週間の際に「何冊読んだかな」と「読書記録ノート」を配布している。一冊埋めて持ってきていただく景品をプレゼントしている。今年は春の子ども読書週間は出来ていませんが、実施をしています。

野村委員 そういうものがあるのであれば、子どもにも話してみようと思います。

橘委員 先日、知立市の障がい者の団体をまとめているグループの会長とお会いし、障がい者の方々の立場としてお話を聞いた。広報ちりゅうや図書館だよりで小学生まで等、イベントの対象年齢が書いてあると思う。実際年齢は30歳なのだが、知的には3、4歳しかない障がい者が、対象年齢を見て、敷居が高いと感じる。福祉協議会等に前もって通知していただくと、仲間のお母さん方同士でも誘いやすい。もう少し、障がい者の方にも足を運んで頂きやすいように目を向けて欲しい。映画会では、字幕があると耳の不自由な方でも楽しめる。手話付きのストーリーテリング等。障がい者に向けた催し物も考えていただきたい。

松尾委員 映画会では午前と午後の部があり、どちらかは字幕付きだと思う。

事務局 耳の遠い方のため、日本語版でも字幕はつけるようになった。

橘委員 そういったことを福祉協議会へ再度広めてもらいたい。

松尾委員 広報や図書館だよりでも、字幕付きということが書いてある。

犬塚委員 安城の図書館では、子ども等に読書通帳を配布または販売している。借りた本のリストがその通帳に残していける。子どもが楽しく借りることのできる「貯める」「集める」ものがあればと思う。それを親に見せられることも、子どもが読書するにあたって良い取り組み。本を借りようと思える、知立市民だからこんな特典がある、というのがあると利用

回数が増えると思う。

近藤会長 今ある現状にプラスアルファをして、色々な方への思いやりや、わが身に返った時に我が家ではどうかなど、皆さん何かしら良いご意見をもっていて、とてもよい協議会になった。資料を基にした話し合いも大切ですが、自分の意見を皆さんの前で言うことで納得し、学校の現状もわかった。次回、第3次知立市子ども読書活動推進計画の取りまとめができる頃に、第2回の協議会があるのか。

事務局 予定では8月末頃に資料が完成します。

近藤会長 8月末下旬に届く資料を参考にさせて頂き、第2次知立市子ども読書活動推進計画の36ページの成果指標の結果を期待します。

その他ご意見ありますか。これで議題のすべてが終わりました。進行を事務局へお返しいたします。

事務局 ご協議ありがとうございました。協議会につきましては年2回の開催。11月に次回を予定しておりますので、日程が決まりましたら改めてご連絡します。これにて令和2年度第1回図書館協議会を終了いたします。ありがとうございました。

(午後2時13分閉会)